

意見書案第1号

歯科保健事業を拡充し、保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書
上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和5年3月23日提出

提出者

文教民生委員会委員長 加藤啓二

歯科保健事業を拡充し、保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

口腔衛生の管理や口腔機能を維持することが全身の健康や生活の質（QOL）の向上に効果があり、医療費抑制にも繋がることが明らかになっている。口腔衛生管理は感染症の予防にも効果があり、歯や口腔を健康に保つことは、国民の健康維持に不可欠である。歯科保険診療の改善とともに、国民の口腔内の衛生管理や予防・健康維持をすすめる歯科保健事業の充実が強く望まれている。

しかしながら、公的医療保険の患者自己負担が増えていることに加え、医療技術の進歩に伴う新しい治療行為の多くが保険給付の対象とされていないことから、患者の医療費負担が大きく、歯科診療が受けにくくなっている。また、口腔の健康が全身の健康につながることも十分に周知されていない。

よって、国の責任で、患者の窓口負担を軽減、歯科の保険給付範囲の拡大で、国民が保険でより良い歯科医療を受けられる措置を講じ、併せて国民皆歯科健診の実施や地域での感染予防対策や口腔衛生管理の有効性の啓蒙など、歯科保健事業を充実できるよう、国の施策の改善を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和5年3月23日

愛知県愛知郡東郷町議会
議長 加藤 宏 明

(提出先)

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣